

平成 27 年 12 月 17 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 27 年 12 月 17 日 (木曜日)

午後 3 時 30 分から午後 4 時 45 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生      委 員 羽賀 友信      委 員 中村 美和  
委 員 青柳 由美子      教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	若月 和浩
教育総務課長	武樋 正隆	教育施設課長	中村 仁
学務課長	茂田井裕子	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長補佐	梅沢 一茂	保育課長	大野 宏
中央公民館長	佐藤 実	中央図書館長	金垣 孝二
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹
学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史	学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	水内 智憲	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課主事	濱 悠子	学校教育課指導主事	古川 真哉

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2		委員長の選挙
3		委員長職務代理者の指定
4	第 57 号	長岡市教育委員会組織規則の一部改正について
5	第 58 号	長岡市子育ての駅条例施行規則の一部改正について
6	第 59 号	長岡市子どものための教育・保育給付の支給認定に関する規則の一部改正について
7	第 60 号	長岡市地域子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について
8	第 61 号	平成 28 年度全国学力・学習状況調査への参加について

## 7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 12 月定例会を開会する。

---

### 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、中村委員及び加藤委員を指名する。

---

### 日程第 2 委員長の選挙

(大橋委員長) 日程第 2 委員長の選挙を行う。選挙の方法について、事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 大橋教育委員長においては、12 月 26 日をもって委員長の任期が満了となる。これに伴い、本日、委員長の選挙及び委員長職務代理者の指定を行う。選挙の方法については、教育委員会会議規則第 1 条の規定により、投票または指名推選のいずれかの方法によることとなる。投票による選挙は委員の互選とし、

無記名で投票を行い、最高票を得た者をもって当選人とする。また、指名推選の場合は出席委員全員の同意を必要とする。

(大橋委員長) いずれの方法がよいか。

(青柳委員) 指名推選がよいのではないか。

(大橋委員長) 青柳委員から指名推選という意見が出たが、他に意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。よって委員長の選挙は指名推選の方法で行う。それでは指名推選の発言を求める。

(青柳委員) 大橋委員を推選する。

(大橋委員長) 他に意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。よって指名推選のとおり、委員長を決定する。意義はないか。

[委員全員「異議なし」と呼ぶ]

(大橋委員長) 異議なしと認める。ただいまの指名推選により、私、大橋が委員長に選任された。

(大橋委員長) これより一年間、長岡市教育委員会の委員長を務める。先般、市長と教育大綱について話をした。長岡市の教育も新しい局面に入っているかと思う。精一杯務めるので、よろしく願いしたい。

---

### 日程第3 委員長職務代理者の指定

(大橋委員長) 日程第3 委員長職務代理者の指定を行う。委員長職務代理者の指定については、会議規則第2条の規定により、委員長の推挙に基づき委員会が行うこととなっている。ついては、これまでと同様に、第1順位は羽賀委員、第2順位は中村委員を推選する。これに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

よって、第1順位は羽賀委員、第2順位は中村委員に決定する。

---

日程第4 議案第57号 長岡市教育委員会組織規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第4 議案第57号 長岡市教育委員会組織規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 今回の改正については、新たな子育て支援の拠点施設を開設することに伴い、11月の教育委員会定例会において子育ての駅条例の一部改正が承認されたが、組織規則においても子ども家庭課所管として定めるものである。改正内容は、それぞれ開設する時期に応じて名称を追加するものである。子育ての駅みしまは12月23日、子育ての駅なかのしま・こしじ・やまこし・おぐに・てらどまりは平成28年1月1日、子育ての駅わしま・よいた・かわぐちは平成28年4月1日である。新旧対照表については、記載のとおりである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり承認した。

---

日程第5 議案第58号 長岡市子育ての駅条例施行規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第5 議案第58号 長岡市子育ての駅条例施行規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(梅沢子ども家庭課長補佐) 先に承認された議案第57号と関連するものである。

11月の教育委員会定例会で承認された長岡市子育ての駅条例改正に伴い、各地域の子育ての駅について、開館時間や休館日を設定するものである。開館時間や休館日については、これまで地域の支援センターとして開館してきたものを踏まえて設定した。施行期日は、開館日に合わせてある。新旧対照表は、記載のとおりである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 開館時間が各地域によって違うが、地域の希望を取り入れているため

か。

(梅沢子ども家庭課長補佐) 地域の実態や希望を踏まえて設定したものである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

日程第6 議案第59号 長岡市子どものための教育・保育給付の支給認定に関する規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第6 議案第59号 長岡市子どものための教育・保育給付の支給認定に関する規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 子ども・子育て支援法施行規則(平成26年内閣府令第44号)の一部改正に伴う改正である。改正内容の1つ目は、マイナンバー法の施行に伴い、保育園の入園申請書類に、保護者と申請する児童の個人番号記載欄を追加するものである。2つ目は、保育必要量の認定についてである。保育必要量は、11時間とする標準時間と8時間とする短時間の2つの認定がある。認定事由が「妊娠出産」、「災害復旧」、「虐待・DVのおそれがある」に該当する場合に、今までは無条件で標準時間となっていたが、本人が短時間認定を申請した場合は、短時間でもよいとするものである。施行期日は平成28年1月1日からとしたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 保育必要量の認定について、詳しい説明を求める。

(大野保育課長) 保育園入園の際、保育を必要とする理由が「妊娠出産」、「災害復旧」、「虐待・DVのおそれがある」に該当する場合に、これまでは、無条件で保育標準時間であった。改正後は、本人が希望する場合、短時間としてもよいとするものである。また、標準時間か短時間かによって保育料も変わる。

(加藤委員) 支給認定(変更)申請書兼現況届の記入を依頼する際は、記入例を添付するのか。

(大野保育課長) 現在添付はしていないが、申込時期の説明会などでは記載例を設けている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり承認した。

---

日程第7 議案第60号 長岡市地域子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について

(大橋委員長) 日程第7 議案第60号 長岡市地域子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 新たな子育て支援の拠点施設として地域版子育ての駅を開設することに伴い、その主な業務である子育て支援センター業務の実施要綱を一部改正するものである。改正内容は、平成28年1月1日から開設するものについては、名称の追加、平成28年4月1日から開設するものについては名称の追加及び変更を行うものである。なお、子育ての駅やまこしについては、支援センター事務がないため、子育ての駅みしま及びよいたについては私立保育園を運営主体とする子育て支援センターであり、別の要綱で定めているため、改正内容には含まれないものである。施行期日については、それぞれの開設日である平成28年1月1日及び4月1日としたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本案は原案のとおり決定した。

---

日程第8 議案第61号 平成28年度全国学力・学習状況調査への参加について

(大橋委員長) 日程第8 議案第61号 平成28年度全国学力・学習状況調査への

参加について を議題とする。事務局の説明を求める。

(竹内学校教育課長) 市立小・中学校の児童生徒の学力実態等を明らかにすることにより、その結果を学校における児童生徒への指導の充実、学習状況の改善等に生かすため、文部科学省が実施する平成 28 年度全国学力・学習状況調査に長岡市教育委員会として参加することとしたいものである。平成 28 年度全国学力・学習状況調査の内容は、国語と算数又は数学の 2 教科であり、「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」が出題される予定である。その他、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査についても実施される予定である。調査実施日は平成 28 年 4 月 19 日であり、今後変動する可能性があるが、現時点の見込数は小学校第 6 学年 2,287 名・中学校第 3 学年 1,429 名である。長岡市の児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握するため、及び各学校が自校の児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、児童生徒への指導の充実や学習状況の改善を図るため実施したいものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

(大橋委員長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了する。次に協議報告事項に入る。最初に、12 月議会における教育委員会関係質問事項について 事務局の説明を求める。

(佐藤教育部長) 12 月議会の一般質問の答弁を説明する。笠井則雄議員からは新年度予算編成において、給付型奨学金制度等についての質問をいただいた。国に給付型奨学金制度の創設を強く働きかけて欲しいというものと、長岡市も独自の給付型奨学金制度を作るべきではないかという質問であった。今年度初めて全国市長会を通じて国に給付型奨学金制度の創設を要望したと回答した。地域企業への就職な

どを条件とする、奨学金返還制度の創設を行ってほしいという質問については、給付型奨学金制度や地元企業就業者への返還支援制度は、自治体の財政力が大きく物を言うため、自治体の責任で実施することが適当か研究する必要があると回答した。新潟県が12月県議会に提案した「入学時無利子貸付制度」など県奨学金制度の拡充内容を伺いたいとの質問については、返還猶予対象者の拡大のほか、入学時一時金の無利子貸し付けやU・Iターン者向けの新規貸付特別枠の設定などであると回答した。

(若月子育て支援部長) 次に保育料の引き下げ、小・中学校へのクーラーの設置、保育園や小・中学校への給湯器の計画的設置、放課後児童クラブの延長について市の考えを伺いたいとの質問であった。現在、来年度予算編成の査定中であるため、しっかりと考えていくということは、市長が答弁をした。保育問題については、保育士の支援対策として、臨時職員を任期付正規職員としたり、潜在保育士を対象に再就職セミナー等を開催しており、今後も継続したいと回答した。

(佐藤教育部長) 次に、小・中学校のクーラー設置について伺いたいとの質問であった。クーラーの整備に対しては補助対象事業費の1/3を補助する制度があると回答をした。次に、給湯器の計画設置について伺いたいとの質問であった。現在保育園2園、小学校7校、中学校1校に設置していると回答した。

(若月子育て支援部長) 次に、放課後児童クラブの充実について伺いたいとの質問であった。これまでは小学3年生までであったものを、平成27年4月より小学6年生まで拡大したところであり、児童クラブを通じたり、市政だよりやホームページで周知していることを回答した。次に、児童厚生員の待遇改善や研修の実施状況について伺いたいとの質問であった。研修は市独自で実施しているほか、国が定める認定資格研修を全員が受講できるようにしていることや、待遇改善については、今後も引き続き務めると回答した。次に、障害者権利条約批准等に伴う諸課題についての質問である。障害のある子どもの放課後等のデイサービスの充実について、現在の実施状況と今後の事業所開設計画について伺いたいと質問であった。放課後等デイサービス事業は子ども家庭センターで行っており、デイサービス事業所は現在4か所で、年度内に2か所、来年度以降さらに複数の事業所が開設予定であると回答した。

(佐藤教育部長) 関充夫議員から、新たなまちなかの図書館についての質問をいただいた。1つ目は、これからの図書館について、長岡市の理想とする図書館像について伺いたいとの質問であった。蔵書・資料の整備やレファレンスサービスなどの基本を、しっかりと行っていくと回答した。2つ目は、長岡市立図書館の特色について伺いたいとの質問であった。郷土史料や貴重資料の収集保管、お話ボランティアや図書館友の会等市民協働の取り組み、地域図書館の地元根ざした取り組みという3つの特色があり、今後も打ち出していきたいと回答した。3つ目は、新たなまちなかの図書館についての質問であった。将来の長岡を支える人材育成、互尊文庫の精神・機能の継承、中心市街地におく意味を踏まえ、市民ニーズに合うまちなかにふさわしい施設にしていくよう検討を進めると、市長から答弁した。続いて、高見美加議員から、家庭の教育力について伺いたいと質問をいただいた。1つ目は、当市の現状認識と課題についてである。家庭の教育力が落ちてきているという声があるが、長岡では熱心に家庭教育に取り組んでいると回答した。2つ目は、現状の施策展開についてである。教育委員会で取り組んでいる施策について整理し、回答をした。

(若月子育て支援部長) 次に、当市の家庭教育に対する施策について、今後の展開についての質問があった。教育委員会で行っている施策を紹介し、放課後子ども教室の拡充や要対協、サポートチームによる個別対応等様々な形で家庭を支援しており、今後も学校・家庭・地域で連携し教育力を向上させるように取り組んでいきたいと回答した。中村耕一議員から、子育て支援についてハード面だけでなくソフト面も重要なのではないのか、という観点から質問をいただいた。1つ目は母子保健推進員の活動実態について伺いたいとの質問である。母子保健推進員の役割を説明するとともに、長岡市の母子保健推進員は全国に誇れるものであり、高く評価していることを市長が答弁し、今後もしっかり連携していきたいと回答した。2つ目に、父親の育児協力に対する質問である。パパママサークルや出前子育て講座などの事業を充実し、父親の育児参加と意識啓発を図っていくと回答した。3つ目は、子育てアプリの導入についてである。9月の補正予算で新たに導入したところであり、内容を説明した。また、中村議員から、東京都世田谷区のアプリには健診や予防接種の時期になるとお知らせが来る機能があることを紹介いただいた。長岡市のアプリ

りにはお知らせ機能はないが、子育てガイドの情報、保育施設の空き情報、子育て関連施設の検索機能サービスを行う予定であり、今後も利用者の声を聞きながら、新しい展開について研究していきたいと回答した。

(佐藤教育部長) 桑原望議員から子どもの貧困についての質問をいただいた。初めに、長岡市の子どもの貧困の現状についてである。現在、貧困が理由と思われる不登校等深刻な状況にある子どもはいないが、経済的な問題を抱えている家庭は少なからずあると認識していると回答した。次に、長岡市の教育支援について、米百俵財団の奨学金貸与制度の現状、返還の猶予や減免等をしてはどうかという質問であった。米百俵財団の奨学金制度の説明をし、返還の猶予については柔軟に対応しており、減免については財源等財務状況を踏まえて研究する必要があると回答した。

(若月子育て支援部長) 次に、児童虐待の防止についての質問をいただいた。子どもの貧困が児童虐待に繋がることもあるが、それだけが原因ではなく、様々な要因が絡み合って児童虐待に繋がっていると考えているため、そのような相談を受けた場合、生活保護担当等関連機関があるので、要保護児童対策地域協議会をはじめとして連携していると説明をした。次に、貧困が子どもの健康状態に影響を及ぼすのではないかとという質問であった。健診や学校での様子を見ている中で、深刻な健康状態にある子どもはいないが、保護者が子どもの健康に関心をもつよう情報提供しており、経済的な悩みにも対応していると回答した。

(佐藤教育部長) 次に、子どもの貧困について、スクールソーシャルワーカーを活用すべきなのではないかと質問であった。教育委員会としても、専門性を活用していきたいと回答した。

(若月子育て支援部長) 田中茂樹議員からインターネットと教育問題についての質問をいただいた。初めに、市立学校でのネットトラブル、ネットいじめの発生状況と件数を伺いたいとの質問であった。報告を受けている件数は一桁台であるという状況であると回答した。次に、学校ではネット問題をどう対処しているのかとの質問であった。ネット問題には専門のサポートチームが対応したり、教職員対象の研修講座を実施し、保護者にも啓発を行っているという回答であった。次に、家庭ではネット問題についてどのように対応しているのかとの質問であった。長岡市小中学校PTA連合会が、ゲーム機やスマートフォンを使用する際の家庭向け独自ルールを策定

し、PTAを中心に取り組んでいると回答した。次に、乳幼児期におけるインターネット問題について伺いたいとの質問であった。節目節目の健診等で話をしたり、啓発をしているので、今後も行っていきたいと回答した。

(佐藤教育部長) 細井良雄議員から小国地域の3小学校の統合について伺いたいと質問をいただいた。統合に至った経緯や渋海小学校の施設改修要望について、教育長から回答した。次に、遠距離となる地域の通学手段の質問については、スクールバスを運行すると回答した。次に、児童クラブの対応について伺いたいと質問であった。保護者や地域の方へのアンケートでは統合小学校内での実施と現在のおぐにコミュニティセンター内での実施の希望者数に大差がないため、今後も地域の声をよく聞きながら対応していきたいと回答した。また、児童クラブの開設時間については時間の繰り上げ、平日等の預かり時間の延長について、前向きに検討していくと回答した。

(若月子育て支援部長) 次に、本日開催された文教福祉委員会での質問についてである。五十嵐良一委員から、休日保育の状況等について質問をいただいた。現在、休日保育を私立保育園4園で実施しており、子育ての駅ちびっこ広場及びてくてくでの一時保育、ファミリーサポートセンター会員による預かり保育がある。平均すると1日に10人程度の利用であり定員には余裕があるため、市全体としては満たしている状況である。今後増えるようであれば検討していくと回答した。池田明弘委員から、母子手帳を交付する際に育児支援制度について周知をして欲しいとのことから質問をいただいた。母子手帳を交付する際に、様々な制度の説明をしており、企業への周知については他部局と連携しながら行っていくと回答した。

(佐藤教育部長) 次に、図書館での新しいサービスである、ブックシャワー・雑誌スポンサー制度の導入について伺いたいと質問であった。ブックシャワーとは、本の消毒を行うことで、最近導入するところが出てきている。雑誌スポンサー制度とは、雑誌の購入経費を企業から支援してもらい、雑誌の表面に企業の名前やPRなどを掲載するものである。これらについては、今後、先行事例を調査・研究していきたいと回答した。次に、学校校舎の特定天井及び保育園の耐震化について伺いたいとの質問であった。校舎・体育館の耐震工事は今年度で終了するが、校舎内のホール等の天井高が6mを超え、かつ、面積が200㎡を超える吊り天井、すなわち特

定天井については、特に危険なので耐震化をするよう指示がきている。現在、該当する校舎が5校・1園にあるため、改修工事を進めていくと回答した。次に、保育園について、耐震化優先度調査を行っているが、耐震診断を行っていない。しかし、耐震化優先度調査によって安全であること、平屋・2階建てで、構造的には頑丈であるため、安全性については心配していないと回答した。また、市長からは、保護者の安心度を高めるように簡易な耐震診断は行っていくことも検討すると回答した。大竹雅春委員から中学校の地域貢献活動について、「おぐにカンパニー」の概要を聞きたいという質問と、支援をしていくべきなのではないかという質問をいただいた。教育長から、「おぐにカンパニー」ができた経緯と、これからも支援していくことを答弁した。

(若月子育て支援部長) 次に、放課後子ども教室について質問をいただいた。今年度は12教室行っており、特に「希望が丘あそびの城」は全国的にも先進的な活動をしていることを回答した。また、市でも校長OBのコーディネーターがいるため、今後開設するところがあれば、地域の要望に応じて支援をしていくと回答した。関充夫委員から、児童クラブの現状と今後増設予定について質問をいただいた。現在支所地域も含めすべての地域で44の児童クラブを実施しており、今後も必要に応じて増やしていくと回答した。

(佐藤教育部長) 次に、中学生の冬期通学の現状を伺いたいと質問をいただいた。中学生は冬になると自転車通学からバスや電車通学に切り替える生徒がいる。現在、遠距離通学の生徒については、バスの定期券代を無料にする補助制度を行っているが、遠距離通学でない生徒についても、子育て支援策として支援したらどうかというものである。現在の遠距離通学者については、政策目的がはっきりしているため継続していく。遠距離通学でない生徒については、子育て支援策として既に用途が限定されていない児童手当があることと、バスや電車を利用する生徒は一部に限定されるため、実施することは難しく、現状の施策内容で行っていきたいと回答した。

(若月子育て支援部長) 次に、地域版子育ての駅開設について心配なことや懸念していることはないかという質問であった。子育ての駅になることによって利用者数をはじめ、どのような状況になるのかは開設してみないとわからない部分があるため、軌道に乗るまでは施行錯誤が続くと思っており、しっかり支援をしていきたい

と回答した。本会議及び文教福祉委員会の質問と答弁の説明は以上である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤委員) ネットトラブルやネットいじめについて田中議員から質問があったが、教育委員会に報告されていない、簡易な日常トラブルはあるのか。

(竹内学校教育課長) ひやかしいじわるを言ったなど、学校内で解決できる程度の言葉のトラブルは若干あると聞いている。学校側で対応できる問題は対応しているが、もう少し積極的にアンテナを伸ばし学校側に話を聞いていきたい。

(加藤委員) 大きないじめやネットトラブルもある日突然大きくなるのではなく、小さなことが積み重なって大きくなる。そのため、小さなものからきちんと対応していく必要がある。

(羽賀委員) インターネットの場合、こんな言葉は使ってもいいだろうと自分で境界線を決めたものが、実際は悪意がなくてもネットトラブルやネットいじめにつながるというケースが考えられる。そのようなケースがあったら報告してもらい、事例研究をしたほうがよいのではないか。

(青柳委員) 乳幼児期におけるネット問題について、保護者に対して啓発しているが、よくない例はどのようなものがあるのか。

(若月子育て支援部長) 保護者がスマートフォンに夢中で、授乳時に子どもを見ないことや、保護者が子どもの面倒を看ず、子どもをあやすためのアプリに任せてしまっているという事例を聞いている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。

---

(大橋委員長) 次に「教育委員会関係工事等の入札状況について」事務局の説明を求める。

(中村教育施設課長) 教育委員会関係建築工事入札状況について、3つの工事は昨年の6月の議会で契約議決されたもので、このたび工事費の増額の変更契約を行うための議案として、9月の議会で提出し本日の文教福祉委員会で議決されたもので

ある。最終議決は 21 日開催の本会議の予定である。1 つ目は、新町小学校校舎耐震補強・大規模改造工事についてである。こちらは建築工事であり、変更内容は建設労働市場における賃金水準、労務単価が大幅に上昇しているため、長岡市建設工事請負約款のインフレスライド条項に基づいて、工事費の増額を行うものである。変更後の契約金額は、923,732,640 円で 19,016,640 円の増額である。2 つ目は、栃尾東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事についてである。同じく建築工事であり、変更内容はインフレスライド条項に基づく増額に加えて工事途中で判明した地中にある工事の支障となる埋設物の撤去、各教室の教材棚を造り直す必要が生じたことによる工事内容の変更と工事費の増額を行うものである。変更後の契約金額は 691,609,320 円で 39,681,360 円の増額である。3 つ目は、栃尾東小学校校舎耐震補強・大規模改造機械設備工事の変更である。変更内容は、既存の消火栓の配管が漏れていること等が判明したため、工事内容の変更と工事費の増額を行うものである。変更後の契約金額は 180,134,280 円で 8,678,880 円の増額である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤委員) 工期の変更はないのか。

(中村教育施設課長) 工期の変更はなく、工事も順調に進んでいる。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。

---

(大橋委員長) 次に「附属機関等会議報告について」事務局の説明を求める。

(佐藤中央公民館長) 第 3 回社会教育委員会、公民館運営審議会についての報告である。この会議は 2 部構成で行われ、第 1 部は社会教育委員・公民館運営審議会委員で各種大会について、第 2 部は教育委員も加え、「シニア世代がいきいきと輝くためには」を議題に意見交換会を行った。意見等は記載のとおりであり、貴重な意見もあったので、今後もこの意見を参考にすることはもちろん、様々な方の意見を聞きながら運営していきたい。

(金垣中央図書館長) 第 2 回長岡市栃尾美術館協議会についての報告である。今年

度の前期事業報告と後期事業計画、来年度の事業計画案についてを議題とし、いずれも承認された。意見・質問等は記載のとおりである。今年度栃尾美術館開館 20 周年記念事業を行っており、企画展等での取り組みについて高く評価をいただいた。来年度以降も子どもが興味を持つ楽しい企画を工夫し実施していきたい。栃尾地域や科学博物館、県立近代博物館等との連携強化ということで意見もいただいた。特に栃尾地域との連携については、来年度、栃尾美術館の新しいパンフレットの作成を予定しており、その際に協議検討していく。

( 小熊科学博物館長 ) 第 26 回長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会についてである。今年度の事業実施状況についてと、来年度の事業計画について報告をし、意見をいただいた。主な意見や質問は、今年度はイベントを多く行い、好評をいただいているので、次年度も新たなものを加えて進めてほしいという意見や、現在観覧料を徴収しているが、将来的に無料にならないかという意見をいただいた。今後の事業計画についての意見は、記載のとおりである。

( 梅沢子ども家庭課長補佐 ) 第 2 回長岡市子ども・子育て会議についての報告である。地域版子育ての駅についての整備状況の報告、および、放課後児童クラブ、支援センター、次代の親育成事業の 3 つの子ども・子育てワーキング部会の結果報告を行った。また、当日はグループワークを開催し、次代の親育成事業のワーキング部会で話し合われた内容を踏まえ、子どもたち・若者が成長し親になっていく過程で必要なことは何かを検討した。主な意見と回答は記載のとおりである。最後に、アドバイザーから、若者にライフデザインを考えさせることは大切であり、赤ちゃんとのふれあい体験事業等を継続して行うことが大事とまとめていただいた。意見等は、今後の事業に生かして行きたい。

( 大橋委員長 ) 質疑、意見はないか。

[ 「なし」と呼ぶ者あり ]

( 大橋委員長 ) 質疑、意見なしと認める。次に、催し案内について、補足説明のあるものはないか。

( 竹内学校教育課長 ) 平成 28 年 1 月 23・24 日に、1泊2日で、中学生を対象としたながおか未来塾を実施予定である。行政・国際情勢・市民交流の分野では羽賀教育委員、財界から丸山商工会議所会頭、さらに長岡東中学校・長岡商業高校を卒業

し、東京からUターンで戻ってきたテレビ新潟の堀アナウンサーを特別講師として講話を行う。また、塾生の協働ワークショップを行い、志や未来について考えるきっかけにしたいと考えている。ぜひ見に来てもらいたい。

(大橋委員長) ながおか未来塾は今回で4回目の開催でよいか。

(竹内学校教育課長) 4回目の開催となる。

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

(梅沢子ども家庭課長補佐) 長岡市小中学校PTA連合会が作成した市P連ルール及び中之島地域の小中学校PTAが主体となり、連携して作成した家庭学習の手引きについてである。これらについては、決まりではなく提案であり、家庭内で話し合い、活用してもらいたいという思いがあると聞いている。

(大橋委員長) どちらも全家庭に配布されているのか。

(若月子育て支援部長) 長岡市P連ルールは、各PTAに配布されており、活用方法や配布については各PTAの考えによる。中之島地域の家庭学習の手引きは、中之島地域の小・中学生がいる全家庭に配布されている。

(大橋委員長) 他地域でも、市P連ルールと各PTAで作成したルールをあわせて配布するとよいと思う。

(大橋委員長) 他に、報告事項はないか。

(金垣中央図書館長) 本日2枚のチラシを配布したので、興味があるものがあれば参加をお願いしたい。

(大橋委員長) 他に、報告事項はないか。

(武樋教育総務課長) 米百俵のまち長岡 教育大綱についてである。先の総合教育会議での意見を踏まえ修正したうえで、本日、文教福祉委員協議会を開催し、市長自ら説明をした。特に基本理念については、幸せを創り出していけるという思いを込めたと説明をした。議員からこの大綱における市長と教育委員会の関係を質問され、市長は方針をきちんと定め、具体的な施策・手段は執行機関である教育委員会で進めていくと回答した。12月24日に市長決裁で決定する予定である。また、学校に対しても、12月25日の午前中に校長会議を開催し、周知を行う。

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

---

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員